

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

No.	区分	科目名	単位数	実務家教員	左記経験を活かした授業の内容
1	工学基礎科目	技術者倫理	2	勅使川原敏之 櫻田賢	技術者倫理を科学技術・法・倫理の3つの視点で捉え、社会活動経験を交えた講義を行い、公共を意識した技術者になれるよう指導している。
2	工学基礎科目	環境エネルギー概論	2	①藤澤星 ②首藤文洋	①研究業務で得た知見を活かし、エネルギーシステム概略や気候変動対策の位置付け・課題などについて、工学的視点だけでなく社会経済的視点に基づいて講義を実施する。 ②「動物と環境」のテーマで人間社会と動物の関係を獣医学・獣医療の知見から問題提起した講義を行う。
3	工学基礎科目	地域文化論	2	手島仁	群馬学、地域学の知見を生かした授業を展開する。
4	工学基礎科目	ものづくり概論	2	石川恒夫 尾形智夫 工藤智之	各分野での実務を通じて得られた経験と知識を課題に活かして授業を実施している。
5	工学基礎科目	データサイエンス概論	2	①松本浩樹 ②千川達也 ③荒井武彦	①DSPに機械学習アルゴリズムを搭載させた経験を活かし、データサイエンスの実問題への適用について指導を行っている。 ②機械学習アルゴリズムを組み込みシステムに搭載する業務経験を活かし、実問題への適用について指導している。 ③AI搭載ボードの開発経験を活かし、実問題への適用について指導を行っている。
工学基礎科目 集計			10		
1	学群共通科目（建・都・環）	図学デザイン	2	石川恒夫 久保綾菜	設計実務の経験を活かし、建築物等の実務図面にもとづく製図法を指導している。
2	学群共通科目（建・都・環）	構造力学基礎	2	山中憲行 岡野素之 関崇夫	技能講習、研究開発の実務の経験を活かし、構造物全般に関わる力学を指導している。
学群共通科目（建・都・環） 集計			4		
1	学群共通科目（情・生）	情報・生命基礎実習	2	①門屋利彦 ②松本浩樹 ③荒井武彦 ④首藤文洋 ⑤本多一郎 ⑥本間知夫 ⑦尾形智夫 ⑧山下聡 ⑨林秀謙 ⑩星淡子 ⑪薩秀夫 ⑫中山明	本実習は、情報・生命工学分野における研究や生産、品質管理などで使用される基本的な操作、原理、実験結果の解析方法を学習することを目的とする実践的科目である。実施される各実験では担当する各教員の実務経験を活かして指導している。 ①医薬品の研究開発経験を活かし、分析機器の基本操作とその利用についての実習を担当する。 ②信号処理回路およびプログラムを含むシステム開発した経験を活かし、信号処理の基礎実習を実施する。 ③実務でのプログラミング経験を活かし、信号処理の基礎実習を実施する。 ④融合学問領域の研究者としての活動経験や臨床獣医としての経験を活かし、生理学実験を実施する。 ⑤国立研究機関（農水省関係）での農園芸学に従事した経験を活かし、顕微鏡を用いた植物の観察実習を実施する。 ⑥国立研究機関（農水省関係）での研究経験を活かし、分析機器を用いた定量操作について実習を実施する。 ⑦企業における研究その他の実務経験を活かし、実験や研究における留意点や結果のまとめ方などについて教授する。 ⑧民間企業、国立研究機関での経験を活かし、分析機器の基本操作とその利用についての実習を担当する。 ⑨研究機関における微生物分野の研究経験を活かし、顕微鏡を用いた微生物の観察実習を実施する。 ⑩民間企業、国立研究機関での経験を活かし、化学実験の基本操作とその重要性および注意点について教授する。 ⑪国立研究機関（農水省関係）での研究経験を活かし、重量、容量測定の基本操作とその重要性について教授する。 ⑫県立および国立の研究機関での植物、農園芸関係の実務経験を活かし、顕微鏡を用いた植物の観察実習を実施する。
2	学群共通科目（情・生）	プログラミング言語・演習	4	福地佐斗志 荒井武彦 三河賢治 千川達也 濱元信州 小川康一	実務でのプログラミング経験を基に、プログラミング言語の演習を行う
学群共通科目（情・生） 集計			6		

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

No.	学科	科目名	単位数	実務家教員	左記経験を活かした授業の内容
1	社会環境工学科	測量実習Ⅰ	2	角田健治	測量実習を指導している。
2	社会環境工学科	計画数理	2	森田哲夫	社会調査、交通実態調査等に関する実務経験を活かし、データの収集方法と分析手法などの解説を行っている。
3	社会環境工学科	測量実習Ⅱ	2	角田健治 宮川睦巳	測量実習を指導している。 線形計算など実務を踏まえた指導をしている。
4	社会環境工学科	構造物設計論	2	菅野貴浩	鉄道構造物を維持・管理する立場で、高架橋・基礎・盛土に関し、設計上ならびに施工上考慮すべき要点について講義している。
5	社会環境工学科	構造解析演習	2	久保武明	設計実務の経験を活かし、PCソフトによる橋梁構造物の計算法・情報処理法等を解説している。
6	社会環境工学科	交通計画	2	森田哲夫	道路、鉄道、新交通システム等に関する実務経験を活かし、現実の問題に即した交通計画手法を解説している。
7	社会環境工学科	鋼構造学	2	宮川睦巳	鋼橋を通じて、工学と社会インフラとのつながりを説明している。
8	社会環境工学科	地域・都市計画	2	森田哲夫	土地利用計画、住宅地・商業地計画等の実務経験を活かし、地域・都市計画手法を解説している。
9	社会環境工学科	建設マネジメント	2	岡田恵夫	建設技術者として知っておくべきプロジェクトの構造やマネジメント法を、建設現場を統括・管理した経験を踏まえて説明している。
10	社会環境工学科	構造力学Ⅱ	2	宮川睦巳	鋼橋を題材として、力学の重要性と現実の設計に必要な基礎知識を説明している。
11	社会環境工学科	構造力学Ⅲ	2	宮川睦巳	鋼橋を題材として、力学の重要性と現実の設計に必要な基礎知識を説明している。
	社会環境工学科 集計		22		

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

No.	学科	科目名	単位数	実務家教員	左記経験を活かした授業の内容
1	建築学科	建築設計基礎Ⅰ	2	石川恒夫 久保綾菜	設計実務の経験を活かし、実施した木造建築物の、実務図面にもとづく製図法を指導している。
2	建築学科	建築設計基礎Ⅱ	2	石川恒夫 久保綾菜	設計実務の経験を活かし、実施した木造建築物の、実務図面にもとづく製図法を指導している。
3	建築学科	建築計画Ⅱ	2	辛島一樹	設計実務の経験を活かし、建築計画の基本となる考え方を指導している。
4	建築学科	建築設計Ⅱ	2	若松 均 石黒由紀	実際の建物を設計する過程で、実務を通じて得られた経験と知識を、課題に活かしている。
5	建築学科	建築設計Ⅲ	2	若松 均 石黒由紀	実際の建物を設計する過程で、実務を通じて得られた経験と知識を課題に活かし、技術指導を行っている。
6	建築学科	建築構造力学Ⅰ	2	関 崇夫	技術開発に携わり、構造物の応力解析を数多く行ってきた経験から、解析の技術を授業に活かしている。
7	建築学科	建築構造	2	高橋利恵 関 崇夫	技術開発に携わり実務に適用した経験と知識を活かし、建築構造の考え方や耐震設計の考え方に関する講義を行っている。
8	建築学科	都市環境計画Ⅰ	2	辛島一樹	設計実務の経験を活かし、建築が都市に与える影響を含め、都市計画の法制度の内容、重要性を指導している。
9	建築学科	建築設計Ⅳ	2	石川恒夫 石黒由紀	実際の建物を設計する過程で、実務を通じて得られた経験と知識に基づき、課題設定と技術指導に活かしている。
10	建築学科	建築計画特論	2	石田敏明	設計実務の経験を活かし、設計力とプレゼンテーション能力を身につけさせる課題設定と技術指導を行っている。
11	建築学科	建築設計ワークショップ	2	石川恒夫	建築材料の性質にもとづき、実現化する設計を考え、施工方法を実践し、そして設計実務の経験を活かした課題設定と技術指導を行っている。
12	建築学科	建築情報処理	2	高橋利恵	技術開発においてプログラミング作成を経験したことから、その技術を活かし授業を行っている。
13	建築学科	鉄筋コンクリート構造設計	2	金井喜一	構造設計の実務経験を活かし、構造図作成と応力解析及び断面算定の構造設計を通じて、構造設計方法の講義と課題演習を行っている。
14	建築学科	鋼構造設計	2	荒井豊人	構造設計の実務経験を活かし、構造図作成と応力解析及び構造設計を通じて、構造設計方法の講義と課題演習を行っている。
15	建築学科	建築施工	2	高橋康夫	公共建築の設計から施工監理業務で得た経験を活かし、建築生産のしくみをはじめ工場の着工から竣工までのプロセスを施工技術、施工法に関する最新技術の紹介を取り込みながら、施工管理マネジメントを含めて講義を行っている。

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

No.	学科	科目名	単位数	実務家教員	左記経験を活かした授業の内容
16	建築学科	建築構造実験	2	関 崇夫	ゼネコン勤務での経験を活かし、より高い技術を使用している施工現場の情報収集や選定を行い、学生に高度な技術を学ばせている。
17	建築学科	耐震工学	2	関 崇夫	技術開発に携わり得た経験を活かし、最新技術の紹介、耐震設計の変遷に関する講義を行っている。
18	建築学科	建築構造特論	2	荒井豊人	構造設計の実務経験を活かし、構造、耐震診断及び耐震補強に関する最新技術の紹介、最近の建築構造技術と構法について、その特徴を実際の建物にもとづき講義を行っている。
19	建築学科	建築生産	2	堤 洋樹	公共施設マネジメント業務の経験を活かし、建築だけでなく維持管理や会計など建築実務に即した講義を行っている。
20	建築学科	都市環境計画Ⅱ	2	辛島一樹	設計実務の経験を活かし、建築が都市に与える影響を含め、都市計画の法制度の内容、重要性を指導している。
21	建築学科	建築マネジメント	2	堤 洋樹	公共施設マネジメント業務で関わった複数自治体の事例、および公共施設の再整備計画を、ワークショップ形式の授業をとおして、実践的に教授している。
22	建築学科	地盤・建築基礎構造	2	関 崇夫	基礎構造物の技術開発に携わり得た経験を活かし、最新技術の紹介、地盤と基礎構造に関する講義を行っている。
23	建築学科	バウビオロギーⅡ	2	石川恒夫	地域の気候風土や歴史的環境を読み取り、それが内部環境にまで作用するという設計実務における経験を授業に活かしている。
24	建築学科	ランドスケープ特論	2	板垣範彦	設計実務の経験を活かした課題設定と技術指導を行っている。
25	建築学科	環境デザイン特論	2	石川恒夫	設計実務の経験を活かした課題設定と技術指導を行っている。
26	建築学科	建築積算	2	水出有紀	公共工事の入札適正価格設定のため、数量積算基準、積算基準に基づく積算業務、また監督員補助として工程、コスト等の施工管理、およびプロジェクトの各段階における建築積算など、実際上の問題を、実務経験に基づき講義している。
	建築学科 集計		52		

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

No.	学科	科目名	単位数	実務家教員	左記経験を活かした授業の内容
1	生命情報学科	プログラミング言語・演習Ⅱ	4	関口達也	実務でのプログラミング経験をもとに、有用なプログラムを読んで咀嚼することの大切さを知ることや文法知識が実際の課題にどのように役に立つのかを知ることが意識させた授業を行っている。
2	生命情報学科	プログラミング言語・演習Ⅲ	4	優 乙石	実務経験として、大規模生体分子シミュレーションのプロジェクトに従事。分子構造のデータ解析で培ったプログラミング技法（データ構造や並列化・高速化）を応用する。
3	生命情報学科	プログラミング言語・演習Ⅳ	4	中村建介	企業でのプログラミング経験をもとに、データ形式の共有、プログラムの高速化を意識したコーディングスキルの体得を図っている
4	生命情報学科	並列分散処理	2	優 乙石	MPIやOpenMPを用いたハイブリッド並列やGPUを用いた高速化など汎用的な技術を中心に指導する。
5	生命情報学科	生物化学の基礎	2	中村建介	薬剤という単純な化学構造が生物に与える影響を例に、創薬の現場で培った、たんぱく質と薬剤分子などの化学物質間の相互作用の評価についての基礎を論ずる。
6	生命情報学科	分子生物学の基礎	2	本間桂一	企業及び研究機関における分子生物学分野の研究経験を活かし、生物現象の分子的理解に関する基礎的な授業を実施している。
7	生命情報学科	コンピュータグラフィクス	2	優 乙石	生体分子構造のCGや表現方法を題材に、その他の生命系科目にも生かせる内容にしている。
8	生命情報学科	遺伝情報学	2	福地佐斗志	創薬の研究、公共遺伝子データベース運営の経験にもとづき、配列解析の基礎となる遺伝学の授業を行っている
9	生命情報学科	生物物理の基礎	2	優 乙石	シミュレーションで得られる分子レベルの知見を授業内容に活用している。
10	生命情報学科	生命情報の統計学演習Ⅰ	2	本間桂一	企業及び研究機関における生物学的データ解析の研究経験を活かし、生命情報の統計解析に関する演習を実施している。
11	生命情報学科	データベース	2	蒔田由布子	理化学研究所におけるデータベース開発および運用経験を基に、データベースの授業を行なっている。
12	生命情報学科	データマイニング	2	蒔田由布子	理化学研究所にて、公共データをマイニングし遺伝子機能を推論していた経験を生かし、データマイニングの授業を行なっている
	生命情報学科 集計		30		

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

No.	学科	科目名	単位数	実務家教員	左記経験を活かした授業の内容
1	システム生体工学科	生理学	2	首藤文洋	融合学問領域の中で研究員として活動した経験や臨床獣医としての診察・手術を行った経験を背景とした生理学教育を行える。
2	システム生体工学科	信号処理	2	松本浩樹	実際の信号処理回路およびプログラムを含むシステム開発した経験を活かし、信号処理理論の具体的なアルゴリズムへの展開と、アルゴリズムのDPSへのコーディング手法の教育を行っている。
3	システム生体工学科	プログラミング言語演習Ⅰ	3	荒井武彦	実務でのプログラミング経験を活かし、言語の具体的な動作解説から実際のコーディングまでの授業を行っている。
4	システム生体工学科	プログラミング言語演習Ⅱ	3	荒井武彦	実務でのプログラミング経験を活かし、言語の具体的な動作解説から実際のコーディングまでの授業を行っている。
5	システム生体工学科	電気・電子回路実習	3	小堀康功	回路開発の実務経験を活かし、電気回路と電子回路の組み立て、オシロスコープ等の電子機器の取り扱いおよびそれらの機器を用いて回路の特性を計測する演習を行っている。
6	システム生体工学科	工学基礎演習Ⅰ	3	松本浩樹	情報通信機器の開発経験を活かし、実務で使える数学や回路の演習を行っている。
7	システム生体工学科	工学基礎演習Ⅱ	3	松本浩樹	情報通信機器の開発経験を活かし、実務で使える数学や回路の演習を行っている。
8	システム生体工学科	工学基礎演習Ⅲ	3	松本浩樹	情報通信機器の開発経験を活かし、実務で使える数学や回路の演習を行っている。
9	システム生体工学科	医用機器工学	2	首藤文洋	最新医療に関する理解と医用機器を使った臨床獣医診療の実務経験を背景とした講義を行える。
10	システム生体工学科	情報・通信論	2	松本浩樹	実際の情報通信機器を開発した経験を活かし、情報通信理論の実システムへの適用方法の教育を行っている。
11	システム生体工学科	医学概論	2	首藤文洋	最新医療に関する理解と医用機器を使った臨床診療の実務経験を背景とした講義を行える。
システム生体工学科 集計			28		

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

No.	学科	科目名	単位数	実務家教員	左記経験を活かした授業の内容
1	生物工学科	機器分析	2	門屋利彦	医薬品の研究開発経験を活かして、食品や医薬分野での基礎研究や開発、製造や品質管理において利用される質量分析、分光分析、分離分析、免疫化学的分析、生物学的分析などで使用される機器分析の原理とデータ解析法について例を挙げて講義を実施している。
2	生物工学科	遺伝子工学	2	尾形智夫	企業における微生物管理分野の研究での遺伝子工学での研究経験を活かし、遺伝子工学に関する基礎的な授業を実施している。PCR実験の原理について、遺伝子組み換え実験のための制限酵素等の使用について、大腸菌への組み換えDNAの導入方法等についての教育を行っている。
3	生物工学科	バイオ統計	2	大藤道衛	製薬会社での研究開発業務での経験を活かして、分子医科学における統計解析方法、ゲノム解析や細菌叢解析など具体的な実験データを用いた統計解析方法、統計データを発表するためのプレゼンテーション手法などのバイオ研究に必要な統計の基本について講義を実施している。
4	生物工学科	生物情報処理演習	2	山下 聡	大規模化している生物学分野のデータを取り扱う上で、情報処理が必要不可欠となっている。国立研究機関（厚生省関係）におけるバイオインフォマテクスを利用した研究経験を活かし、ゲノム、トランスクリプトーム、プロテオーム、メタボロームなどの情報収集と利用法の生物情報処理に関する基礎的な講義とPCを用いた情報処理指導を実施している。
5	生物工学科	基礎生物学実験Ⅱ	2	①門屋利彦 ②尾形智夫 ③林 秀謙 ④薩 秀夫	<p>本授業は生物工学実験を行う上で必要となる各種基本操作を習得させ、生物の現象や食品の効果や安全性を解析する手段としての実験の意義を体得させること、また実験報告のまとめ方を修得させることを目的とする実践的科目である。実施される各実験は担当する各教員の実務経験を活かしている。</p> <p>①医薬品の研究開発経験を活かして、研究開発や製造・品質管理の現場で基本となる定量分析の基礎となる機器、器具の取り扱い方法や検量線の作成と定量、報告書の書き方などを指導している。</p> <p>②企業における微生物管理分野の研究経験を活かし、微生物実験が正確に行うことができるように、培地作成、無菌操作等に関する基礎的な実験を実施している。</p> <p>③研究機関における微生物分野の研究および品質管理の経験を活かし、微生物の単離、分離、同定などの指導をしている。</p> <p>④研究機関での分子生物学・生化学分野などの研究経験を活かし、マイクロピペットや電子天秤を用いた容量測定や重量測定など基本的な実験操作を指導している。</p>

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

No.	学科	科目名	単位数	実務家教員	左記経験を活かした授業の内容
6	生物工学科	生物工学実験Ⅱ	4	①門屋利彦 ②尾形智夫 ③林 秀謙 ④薩 秀夫 ⑤本間知夫 ⑥山下 聡	<p>本授業は食品科学、食品衛生学、生理学、微生物学、生化学に関する実験において必要とされる各種操作や分析手段、そして実験結果の解析方法等を、各種実験を通じて習得させることを目的とする実践的科目である。実施される各実験は担当する各教員の実務経験を活かしている。</p> <p>①医薬品の研究開発経験を活かして、バイオ医薬分野の基礎研究や開発の基本となるタンパク質の取り扱い方法、精製方法、分析方法、酵素活性測定方法、タンパク質量や活性の定量的取り扱いに関する基礎的実験を実施している。</p> <p>②企業における微生物管理分野の研究経験を活かし、微生物実験が正確に行うことができるように、培地作成、無菌操作、酵素活性測定、変異操作等)に関する実験を実施している。</p> <p>③研究機関における微生物分野の研究経験を活かし、微生物の単離、分離、同定、生理生化学的性質、16S rRNA遺伝子による同定などの指導をしている。</p> <p>④研究機関での微生物を用いた分子生物学・生化学分野などの研究経験を活かし、食品中の大腸菌群の検出、クリーンベンチを用いた無菌操作等食品の安全衛生に関する実験を指導している。</p> <p>⑤国立研究機関（農水省関係）での研究経験を活かし、食品科学、動物を用いた生理学実験を実施する。</p> <p>⑥民間企業、国立研究機関での経験を活かして、タンパク質の精製・分析、酵素活性測定、タンパク質量や活性の定量的取り扱いに関する基礎的実験を実施する。</p>
7	生物工学科	食品製造学	2	本間知夫	研究機関におけるチャをはじめとする農業・食品関係の研究経験と知識を活かし、チャなど各食品の製造加工に関して、各製造工程で実施される技術や原料の変化等を解説する授業を実施している。
8	生物工学科	微生物生理学	2	尾形智夫	企業における微生物管理分野の研究での微生物学の研究経験を活かし、微生物生理学に関する授業（微生物の生育、微生物の代謝等）を実施して、微生物の多様性、微生物代謝の多様性、これらの多様性の産業への応用等に関する授業を実施している。
9	生物工学科	微生物利用学	2	林 秀謙	研究機関における微生物分野の研究経験を活かし、微生物利用学、応用微生物学に関する基礎的な授業を実施している。微生物の品質管理、分譲業務より得られた微生物菌株の重要性についても講義を行っている。
10	生物工学科	免疫学	2	長田 誠	免疫学の基礎から各種疾患について講義する。また、臨床検査技師としての実務経験を活かし自己免疫疾患、移植免疫、輸血検査、ウイルス性肝炎治療、がん治療などについて実例を挙げて講義する。

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

No.	学科	科目名	単位数	実務家教員	左記経験を活かした授業の内容
11	生物工学科	公衆衛生学・関係法規	2	船田一夫	県職員として公衆衛生、食品衛生、薬物取締役などの現場での職務経験・知識を活かして、食品衛生関係に必要な公衆衛生及び関連する法律についての講義を実施している。
12	生物工学科	生物工学実験Ⅲ	2	①本多一郎 ②中山 明	本授業は有機化学、天然物化学的な物質取扱い、機器分析法、植物を使ったバイオアッセイ法、実験データの解析法を経験することを目的とした実践的科目である。学生自身は実験を通して、その技術を会得するとともに、その理論的背景を学ぶ。指導教員は、 ①研究機関等における有機合成、天然物有機化学研究、機器分析と実験データ解析の実務経験が豊富であり、これらの経験を実験の内容、指導に活かしている。 ②研究機関における植物研究（バイオアッセイを含む）の経験を実験の内容や指導に活かしている。
13	生物工学科	生物工学実験Ⅳ	2	①門屋利彦 ②尾形智夫 ③本間知夫 ④林 秀謙 ⑤薩 秀夫 ⑥山下聡	本授業は食品科学、食品衛生学、食品分析、微生物利用について、これまでの実験で学んだ基本的な操作・技術を活かして実際の食品材料等を利用した実験を行うこと、また医薬品及び食品の工場見学を通じて実際の現場でどのような取り組みが行われているかを学ぶことを目的とする実践的科目である。実施される各実験は担当する各教員の実務経験を活かしている。 ①医薬品の研究開発経験を活かして、研究開発や製造の現場で欠かせない分離分析や定量分析の基礎を身につけることを目的としてHPLCや原子吸光分析法などを実施している。 ②企業における微生物管理分野の研究経験を活かし、微生物実験を正確に行うことができるように、培地作成、無菌操作、核酸抽出等に関する実験を実施している。 ③研究機関におけるチャヤをはじめとする農業・食品関係の研究経験と知識を活かし、身近にある飲料等を実験材料として食品成分の機能性（抗酸化性）や含有量を調べる実験、実際の食品製造の現場における衛生学的取組みについて解説している。 ④研究機関における微生物分野の研究および品質管理の経験を活かし、微生物が生産する抗生物質の性質、麹菌が生産するアミラーゼの機能解析などを実施し、微生物利用の重要性を指導している。 ⑤研究機関での微生物を用いた分子生物学・生化学分野などの研究経験を活かし、PCR法などを用いた微生物の菌数測定、加熱処理による微生物の殺菌などに関する実験を実施している。 ⑥民間企業、国立研究機関での経験を活かし、研究開発や製造の現場で欠かせない分離分析や定量分析の基礎を身につけることを目的として、食品成分のHPLCや原子吸光分析法などを指導している。
	生物工学科 集計		28		

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

No.	学科	科目名	単位数	実務家教員	左記経験を活かした授業の内容
14	生物工学科（教職）	教職概論	2	小林 清	学校現場と管理職としての経験を活かし教員として働く意義と担任としての心構えを学ばせる講義を担当している。
15	生物工学科（教職）	教育学概論	2	立見康彦	学校現場での教育経験と総括的キャリアを活かし学校教育法や教育の理論に関する指導を担当している。科目の目的、ならびに学修内容に関して、長く携わった教職で得られた知見と経験が緊密に結びつけられている。
16	生物工学科（教職）	教育の制度と経営	2	小林 清	学校の制度を理解しており、学校の運営経験をもつことから教育の制度や学校経営に関する講義を行っている。
17	生物工学科（教職）	視聴覚教育と教育工学	2	益田裕充	学校現場でのICT教育の経験から学校教育におけるメディアの活用について教育を行っている。
18	生物工学科（教職）	教育実習事前事後指導	1	小林 清	教員の育成経験と学校現場での経験を活かし教育実習に向けての心構え、後の学生へのフォローを行っている。
19	生物工学科（教職）	教育実習I	2	小林 清	主として、学校文化理解、教育実習上の心構え、指導の実際等に関して具体的に指導する。また、実習校における研究授業会において授業参観並びに指導を行う。
20	生物工学科（教職）	教職実践演習（高）	2	小林 清	教員としてのキャリア、学校運営経験により教職課程の総括である科目を担当している。
21	生物工学科（教職）	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	小林 清	教育行政の経験を通して、学校現場での経験と実践的教育理論に基づいて特別活動や総合的な探究の指導法を教授している。
生物工学科（教職） 集計			15		

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

No.	学科	科目名	単位数	実務家教員	左記経験を活かした授業の内容
1	総合デザイン工学科	耐震工学	2	長谷川一美	設計実務の経験を活かし、実際の耐震性問題の提起、および手計算レベルで耐震性を論じうる振動解析理論を修得できる指導を行っている。
2	総合デザイン工学科	建築構造	2	長谷川一美	設計の実務経験をとおして得られた知見をもとに、「ものづくり」の基本である「もののしくみ」、その応用である「様々な材料の特性や構造システム」の理解を促す指導を行っている。
3	総合デザイン工学科	鉄筋コンクリート構造	2	長谷川一美	設計実務の経験を活かし、鉄筋+コンクリートの複合材料特性および応力に対する構造特有の解決方法を、生きた構造として習得し、活用出来る様に指導を行っている。
4	総合デザイン工学科	建築施工	2	高橋康夫	公共建築の設計から施工監理業務で得た経験を活かし、建築生産のしくみをはじめ工事の着工から竣工までのプロセスを施工技術、施工法に関する最新技術の紹介を取り込みながら、施工管理マネジメントを含めて講義を行っている。
5	総合デザイン工学科	建築法規	2	大冢義樹	公務員として建築行政業務経験が30年と多く、制度の変遷等について多くを知る。とりわけ、平成12年における基準法大改正では、国土交通省に全国から6人呼ばれたひとりとして意見聴取を受け、深く改正に関係した。
6	総合デザイン工学科	応用測量学	2	鈴木健一	実務を通して測量の著しい変化を強く感じている。このため、従来からの測量に加え、今後必須になるであろう新しい測量が身に付く授業を進めている。
7	総合デザイン工学科	瓦施工	2	宇佐見隆志	瓦の材料特性や施工方法、瓦を用いた設計手法を主題とした指導において、設計、施工の実務経験を活かしている。
8	総合デザイン工学科	広告学	2	佐藤正一	様々なメディアを通じた情報発信の手法について、幅広い広告実務の経験から多面的な指導している。
9	総合デザイン工学科	デザイン基礎演習Ⅱ	2	江本聞夫	設計・デザイン実務の経験を活かし、基本要素の組合せから産まれる多様な空間性のスタディを行う課題設定と、製図や模型を伴うプレゼンテーション表現の技術指導を行っている。各回の講義の内容は、課題に対して各教員が実務で培ってきた知見と実践が活用されている。
10	総合デザイン工学科	デザイン演習Ⅰ	2	駒田剛司 江本聞夫 田所 淳	実際の建物、製品等のデザイン実務から得た経験と知識に基づき、課題を設定し、製図表現、課題解決を指導している。
11	総合デザイン工学科	デザイン演習Ⅱ	2	駒田剛司 杉浦 榮	実際の建物、製品等のデザイン実務から得た経験と知識に基づき、課題を設定し、製図表現、課題解決を指導している。

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

No.	学科	科目名	単位数	実務家教員	左記経験を活かした授業の内容
12	総合デザイン工学科	デザイン演習Ⅲ	2	江本 聞夫 杉浦 榮 橋本 薫 稲福 孝信	実務経験を活かし、実際の地域や敷地（前橋まちなかエリア等）を対象とし、包括的な調査・分析から、現実的な課題を解消し、地域の潜在資源を活かすような空間・プロダクト・情報デザイン提案への技術指導を行っている。
13	総合デザイン工学科	インテリアデザイン応用	2	杉浦 榮	実務経験を活かし、多様な用途に応じたインテリア空間をデザインする課題設定や講評や指導を行っている。
14	総合デザイン工学科	組積造	2	藤井秋男	コンクリートブロックの材料特性およびコンクリートブロック造の設計手法を主題とした指導において、設計、監理、施工の実務経験を活かしている。
15	総合デザイン工学科	建築マネジメント	2	大冢義樹	建築と経済について、建築における生産性、維持管理の効率性、建築関係法等について、実務者（公共建築）として指導した経験を活かしている。
16	総合デザイン工学科	エンジニアリングデザインワークショップ	2	駒田剛司	実務経験にもとづく材料特性の理解、造形的、構造的デザインなどの観点を、システム化された部材の組立方の教授や、空間構成を主題としたワークショップ形式の講義に、反映させている。
17	総合デザイン工学科	サウンドプログラミング	2	田所 淳	実務として行ってきたサウンドプログラミングの経験や技術を反映している。
18	総合デザイン工学科	プロダクトデザインⅠ	2	江本聞夫	実際の製品デザイン実務から得た経験と知識に基づき、課題を設定し、提案の構築とその表現方法を指導している。
19	総合デザイン工学科	プロダクトデザインⅡ	2	江本聞夫	実際の製品デザイン実務から得た経験と知識に基づき、課題を設定し、提案の構築とその表現方法を指導している。
20	総合デザイン工学科	データ構造とアルゴリズム	2	田所 淳	メディアアートの展示及びプログラミングの実務経験を反映している
21	総合デザイン工学科	クリエイティブコーディング	2	田所 淳	メディアアートの展示及びプログラミングの実務経験を反映している
22	総合デザイン工学科	メディアアートプログラミング	2	田所 淳	メディアアートの展示及びプログラミングの実務経験を反映している
23	総合デザイン工学科	環境デザインⅠ	2	杉浦 榮	実務経験を活かし、環境と都市の関係性からみた現実的な課題等について、近代以降の理論を踏まえた講義や指導を行っている。
24	総合デザイン工学科	環境デザインⅡ	2	杉浦 榮	実務経験を活かし、実在の都市環境デザインコンペ要項や自他の実務実例等を参照した課題設定に対する講評や指導を行っている。
25	総合デザイン工学科	グラフィックデザイン	2	宮崎 桂 刈谷 悠三 加藤 貴文	情報メディアとしてのグラフィックの在り方やその手法をデザイン論的、方法論的観点から、実務の経験を活かした指導を行っている。
26	総合デザイン工学科	デジタル造形基礎	2	江本聞夫	実際の製品デザイン実務から得た経験と知識に基づき、課題を設定し、提案の構築とその表現方法を指導している。
27	総合デザイン工学科	コンテクスチュアルデザイン	2	杉浦 榮	実務経験を活かし、多様な用途に応じたインテリア空間をデザインする課題設定や講評や指導を行っている。
28	総合デザイン工学科	デザインCAD	2	橋本薫	設計実務の経験を活かした課題設定と技術指導を行っている。
総合デザイン工学科 集計			56		